

# 第 32 回 縮小社会研究会



成長は一般的に善とされています。しかし、過度の量的成長は自滅への道です。世界は資源や環境の限界から、量的成長が不可能な段階に達し、崩壊しようとしています。このたび、会員の大谷正幸さんが、ドミートリー・オルロフ著『崩壊 5 段階説：生き残る者の知恵』を翻訳し、出版されました。そこで、今回は、これについて解説していただきます。そして、自由に討論をしたいと思います。

**時**：2015 年 12 月 27 日（日）13 時 30 分より

**所**：京都大学 文学部新棟 第 1 講義室

地図：[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_y/](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) の 8

**参加登録**：下記の自動登録よりお願いします。

<http://confreg.ate->

[mahoroba.jp/confreg?conf\\_idstr=HtvwNIvzYFgCJm97rv80Nmn825](http://mahoroba.jp/confreg?conf_idstr=HtvwNIvzYFgCJm97rv80Nmn825)

**参加費**：会員は無料、非会員は 500 円

**講演会** 13：30-15：15

## ドミートリー・オルロフ著『崩壊 5 段階説：生き残る者の知恵』について

大谷正幸（金沢美術工芸大学准教授）

資源・エネルギーの減耗が招く社会変化を、①金融、②商業、③政治、④社会、⑤文化からなる 5 段階の崩壊過程として考察し、苦難を乗り越えるためのヒントを供しているドミートリー・オルロフ氏の著作について紹介・解説します。



**討論会** 15：30-17：00 「自由討論」

小グループに分かれて、討論します。縮小社会といっても、その中身は非常に広く、文明から科学技術、工業、経済、政治、生活まで多岐に渡ります。そこで、みなさんが縮小社会について思うこと、研究会で何をすべきか、など自由に討論したいと思います。飲物とつまみを用意します。参加費 500 円

**懇親会**：17：30 -19：30 場所は未定

一般社団法人 縮小社会研究会

〒606-8227 京都市左京区田中里ノ前町 21 石川ビル 305

e-mail: [jimukyoku@shukusho.org](mailto:jimukyoku@shukusho.org) HP: <http://shukusho.org/>